

# 5から川はな森のニども園だよ

くハ31.4.22

新元号、令和にはいります。現代社会において、色々な物が進み、便利さや、物の豊かさで生活自体のしやすさはどんどん進んでらくになてきたものの、それによて、人としての生きにくさ？みたいなものが増してきたように私は感じてはいるのですが、最近では、いろんな分野で、昔を振り返り、たり、本質の原点にもどる必要性の話も表に出きて、やっと、その時がきてくれるのかなと、少し期待し、希望がみえてきていると感じている私です。子育ての分野においても、令和がそのような時代になればいいなあ〜と、思っている私です。

さて、5月も、いろんな場で身体を十分に動かし、五感をたふぶり使って、春の活動を満喫して子ども達と学び合い、楽しむねばと、思います。今年、のいちごやどどめ、まて貝などの収穫(獲)も楽しみます〜。

## カマキリ誕生

外のおもたしになつて、いる入れもののふちにカマキリが卵を産みつけていました。数ヶ月も前のことで、その間、雨も降ったし、風もおどかたり...と天候もいろいろでした。生まれこゝないうちの、もうじけたつたか...とあきらめていました。それなら、ゆいりか「先生、これなん？ 産みたつたの...」と、いって、私を呼んだので、みま子と、おひの数、赤ちゃんカマキリが産まれて出たのでした。私も初めてうまれ出るこゝろをみたのです。何十匹もの数が出てきて、おひも感動でした。(色も白っぽく、小さくて、よくみま子と気があつた感じ)

4月に入園した新人のえみりさん。活動に、自分をしっかりと出し、活動しています。このとえみりとゆいり、3人3様ですが、いい感じがかかり合っています。このは、昨年度は、自分が受け入れられる側で、今年は、在園児で受け入れる側。年齢は同じ3才児とはいえども園生活では、先輩。このにえみり初めての経験で、意識はもって、現美、えみりのおかげあいのぶつかりもあり、葛藤の日々をすごして頑張っている姿ありです。ゆいりは、年長さんという意識をもて、年少の頃のペースとは、大きく違い、年中の頃の去年からしても、磯あひななどの大自然での姿も成長がみられています。えみりさん、この、ゆいり...と、それぞれ個性あり、持っている力ありで、たのもしさを日々、みせてられています。女3人で、初めは、女子特有の雰囲気になるかな...と予想していましたが、徐々にそこは出なくなり、うちならではの平等なたくましさが出ています。

ちょうど、中学3年の姪っ子とその友人たちも、部活帰りで道にいたので、めつたにみられないこのカマキリ誕生をみてもらおうと誘って、みんなで見まわりました。みんな(園児も、その中学生たちも)ながい時間みいてました。そんな日、この日は、園児と中学生のお姉さん達との交流ともな、せつたつたので、昼寝をすらすらの遊びの時間にして。